

# kyasual を SLYDIFF1化してあったまりたい

kyawaway

GitHub: <https://github.com/kyawaway>

## Preparation

- Fork this repository
- install SAT<sub>Y</sub>SF<sub>I</sub> satyrographos

## Build

- `opam install ./kyasualfi.opam` to install packages
- `make` to build
- `slide.pdf` should be generated

基本的には，普通の `SLYDIFI` と同じです．

- または，これと `slide.tex` を眺めてください．
- 要望があれば，ドキュメントを追加します．
  - ◆ 要望は，issue か @kyawaway へお願いします．

# セクションスライドの 具体例

- フレーム：スライド資料の 1 ページ 1 ページに値するもの
- SLyDIF<sub>I</sub> では 3 種類のフレームを区別する
  - ◆ 見出し：スライド全体の題目、発表者名などを載せるフレーム
  - ◆ セクション見出し：セクションのタイトルを載せる
  - ◆ 本文：通常のフレーム

以下のようなコマンドを用いてテキストを記述できる：

- `+p{}`: 段落
- `+listing{}`: 番号のない箇条書き
- `+enumerate{}`: 番号付きの箇条書き
- `+itemize<>`: 高度な箇条書き

インラインテキストの中では以下のマークアップが使える：

- `\emph{}`: **強調**
- `\text-color(){}:` 文字色変更

+itemize コマンド内では特殊な箇条書きコマンドが使える：

- +thusitem{}<>:

→ これは, +thusitem コマンドの例です.

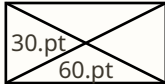
- +okitem{}<>:

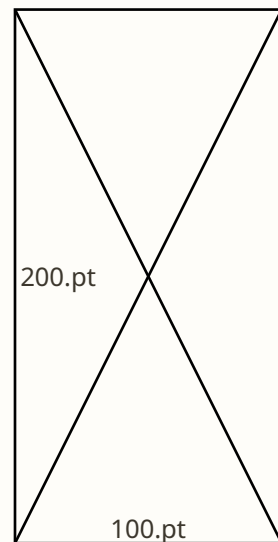
✓ これは, +okitem コマンドの例です.

- 項目 3

# 図表の貼り付け (FigBoxモジュール)

6/11

- 例： `+fig-center(FigBox.include-image 80pt `path/to/image.jpg`);`
  - ◆ `FigBox.include-image` : 画像 (PDF/JPEG) を指定幅で読み込む
  - ◆ `+fig-center` : 読み込んだ図を中央揃えで配置
- 便利関数, コマンド
  - ◆ `dummy-box` : 指定されたサイズのダミーボックス
  - ◆ `hmargin` : 水平方向に指定された量の余白を付ける
  - ◆ `vconcat` : 鉛直方向に図を結合
  - ◆ `\fig-inline` : テキスト中  に画像を出力
  - ◆ `+fig-on-right` : 画像を右に、本文を左に配置





数式は L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X と同様に

$$E = mc^2, F = G \frac{m_1 m_2}{r^2}, x^x = e^{x \log x}$$

といった要領で書くことができます .

```
1 +centering{  
2   ${E = m c^2}, ${F = G \frac{m_1 m_2}{r^2}},  
3   ${x^x = e^{x \log x}}  
4 }
```

$$\frac{\wedge I \frac{\vdash A}{\vdash A} \vee I \frac{\vdash B}{\vdash B \vee C}}{\vdash A \wedge (B \vee C)}$$

```
1  ${\backslash proven! (
2    derive ${ \vdash A \wedge \paren {B \vee C} }
3    |> by { ${\backslash wedge} I }
4    |> from [
5      assume ${ \vdash A };
6      derive ${ \vdash B \vee C }
7      |> by { ${\backslash vee} I }
8      |> from [
9        assume ${ \vdash B };
10     ];
11   ]
12 )}
```

これはテストです。



これはブロックのテストです.

これはブロックのテストです.

中には block text が入ります.

alert block

$$f = x^2 + 2x + 1$$

example block

```
1 +block?: ({これはブロックのテストです.})<
2   +code(CodeSyntax.satysfi)(~);
3 >
```

これは定義ブロックのテストです。

定義 1. タイトル

数式も入れられます。

定理 2. タイトル

数式も入れられます。

系 3. タイトル

数式も入れられます。

補題 4. タイトル

数式も入れられます。

# セクションスライドの 具体例